

新しい地域経済を創造する

一般財団法人 東北共益投資基金

共益投資による産業復興支援のご紹介

■東北共益投資基金とは

正式名称:一般財団法人 東北共益投資基金
 設立:2011年11月 東北本拠地:宮城県仙台市
 代表者(代表理事):坂本忠弘

1. 新たな地場産業モデルの創出支援

新しい地域経済をリードする「共益事業」に積極投資し、(資本性のある資金の提供)、コミュニティ新生も視野に入れた地域活動の広がりをめざします

2. バリューアップ支援

資金の提供だけではなく、地域固有の価値を発揮できるよう、ノウハウ提供・経営支援でバリューアップを図ります

3. 2度の資金循環

「共益経済」の実現に向けて、5年をめぐりに地元へ資本をバトンタッチ、償還された資金を次の課題へ再投資します(NPO等への助成)

東北地域が東日本大震災を乗り越えて復興していけるよう、地場に根づいた産業に光をあて、「共益投資」を通じて、新しい地域経済をリードする共益事業を支援していきます。



■対象案件のイメージ

1. 地域中核事業復興新展開支援 地域経済の中核事業の復興と新しい商品・サービスや販路の開発による共益経済の裾野拡張
2. 小規模伝統産業事業承継支援 東北地域固有の伝統産業の事業復興及び承継支援と拡大支援による共益経済の礎の持続展開
3. コミュニティインフラ新生支援 新しいコミュニティの生活を支える経済インフラの創出支援
4. 地場企業さきがけ再起支援 地場の経済構造において、他にさきがけて事業再起を図る事業を支援し、波及効果を創出
5. 地場企業復興連携拡大支援 水産業等における地場の個別企業を垂直・水平連携することによる生産販売生態系の復興
6. 地域資源活用成長事業支援 地域の特有資源を中軸にした新規事業の開発及び成長の支援